伊賀市 事務事業評価シート

整備事業

	コード		名	称		コード	名 称
事業名	910		市畄下排	水路整備事業	会計	01	一般会計
尹未石	争未有 310	印车下班小路金佣争未			款	80	土木費
基本施策	22	全市的に生活排水処理施設を整備する			項	04	都市計画費
					目	03	下水道費
担当部課名	建設部下水道課			細目	102	下水路等整備事業	
作成者氏名	松本	、 秀喜	連絡先	22-9821	細々目	01	市単下排水路整備事業

事業の計画・内容

上野管内の市街地は昭和3年に下水路が一部、整備されています。	_要 1	整備面積等	岩倉他27地内
## 未整備の市街化区域内において、主に、市街地部では雨水対策、ま			(実施中:岩倉・東高倉・小田町・四十九町・野間)
た、村落部では、生活雑排水を対象に管路の新設及び改修事業を行	四2	規模•構造	管路施設 1式
日い、浸水防除並びに公共用水域の水質保全に寄与するとともに、生的、活理接が改善され、性溶な草としたすることができます。	灾		(実施地区計画残管路延長:13.4km)
17 活環境が改善され、快適な暮らしをすることができます。	₩3	総事業費(千円)	1,433,308(実施地区残事業費621,408)

投入資源

技 人貝源					
			H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規聯	3員 (人)	0.5	0.5	0.5
	人件費合	計(A)	3,600	3,600	3,600
②支出内訳		事業費(B)	41,408	58,000	58,000
(千円)		委託料	10,536	15,000	15,000
		工事費	29,504	40,000	40,000
		その他	1,368	3,000	3,000
合計(A+B)			45,008	61,600	61,600
③財源内訳	特定財源	国県支出金			
(千円)		地方債	35,000	50,000	
		受益者負担	3,813	5,500	5,500
		その他特財			
	一般財源	一般財源		6,100	56,100
上記①~③に関	関する特記	事項			

根拠法令·要綱等		
関連事業		

事業年度

開始年度 | 平成 5 年度 | 終了年度 | 平成 27 年度 |

進捗状況

<u> </u>							
区分	年度						
区刀	H17	H18	H19	H20	H21		
委託料					/		
女のしかり	7			L			
工事費					/		
工尹貝	7			l			
進捗率	7	16	25	35	44		

評価指標

評価指標 事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	目標		
事業進捗率 (投資事業額/総事業費)	全体総事業に対する投資済事業費の比率とすることにより、事業の進捗状況が把握できます。	平成	100	年度
施工率 (施工済管路延長/実施計画管路延 長)	実施計画管路延長に対する施工済管路延長の比率とすることにより、事業の進捗状況が把握できます。		100	

事業開始時からの状況変化等

本事業は、降雨による浸水防除、公共用水域の水質保全、生活環境の改善等に効果があります。

しかし、平成18年2月に伊賀市公共下水道(上野処理区)推進委員会から、上野管内の市街化区域(一部市街化調整区域を含む)は、ひとつの処理区として、公共下水道事業で推し進めるよう、市に提言がありました。その提言内容を検討した結果、長期の事業期間を要しますが、提言どおり事業を進める方向となりました。

このことから、現在、事業実施中の区域においても一部計画の見直しが必要と思われます。

	必要性	3		総合評価
評	有効性	4	本事業については、王冶環境の政告が固れることがら、印民の強い安全があります。これで、降利による「一浸水防除のための管路新設、既設管路の改修は、今後も必要でありますが、公共下水道事業を進める今、	_
価	達成度	4	及外的味のための自由利益、以設官所の改修は、「後も必安とのりよりが、公共下水道事業を進める」、 現在事業実施中の区域においては、一部計画の見直しが必要と思われます。	l A
	効率性	2		